

下町河川 Tomorrow

これは東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（議事録）です。

10月17日（水）

第7回江東内部河川流域連絡会（現地見学会）が開催されました。



平成13年10月17日（水）PM1時～約3時間半にわたり江東内部河川の現地見学会（第7回江東内部河川流域連絡会）が開催されました。

都民委員10名、行政委員11名の計21名のうち、15名が参加しました。（名簿は14頁）

当日は、主要河川・施設の現地見学会を行い、各見学場所について行政委員（カヌー教室については海洋センターの方）から説明がありました。また、後日のアンケートの実施により委員から多くの意見、感想が寄せられました。

見学会のコース

実施日：平成13年10月17日（水）

時間：13:00～16:30

交通手段：マイクロバス（江東区）を使用

見学コース：

13:10 出発

J R 平井駅

13:20～13:50

旧中川
（ふれあい橋）

現地説明

- ・ 灯笼流しについて
- ・ 旧中川フィールドワークについて
- ・ ふれあい橋について

14:10～14:40

横十間川
（親水公園）

現地説明

- ・ 横十間川親水公園について
- ・ カヌー教室について
- ・ クローバー橋について

14:50～15:05

大横川
（南辻橋～菊柳橋）

現地説明

- ・ 管理用通路整備について

15:15～16:15

扇橋閘門

現地説明

本日のまとめ等

- ・ 扇橋閘門について
- ・ 扇橋閘門の操作について

16:30 解散

J R 錦糸町駅



旧中川 ふれあい橋にて



大横川にて

各見学場所での委員の意見・感想

旧中川（ふれあい橋付近）について

フィールドワークの説明

地元の小学生たちによる水中生物や水中植物の環境学習が行われています。



灯籠流しの説明（石碑）

毎年東京大空襲の犠牲者の慰霊のために灯籠流しが行われています。3回目の今回は皆様の募金で慰霊碑を建てました。

旧中川の河川水の動き（流入・流出）について説明

旧中川は水門で上下流を締め切っていますので、常時は滞留していますが、水門の操作により強制的に水の流れを作っています。

都民委員の意見・感想

- ・ここに初めて来たが、上流と比べてすごく立派できれいだった。上流の方もこのような整備をしてほしい。
- ・雨水がはけない時、小松川ポンプ場から旧中川へ流すと水質はどうなるのか。
- ・小さな建設機械が川の中に落ちたことがある。連絡体制など十分注意してほしい。
- ・灯籠流しがもっと長い区間で流れるとよいが。

行政委員の意見・感想

- ・上流の方もこういう形でこれから整備していきたい。
- ・1時間30ミリぐらいの雨で汚水が雨水にまじって旧中川に出ている。合流式下水道の改善により、旧中川に対する負荷を減らしていきたい。
- ・川の管理は江戸川区でやっているのを把握している。何かあったら区へ連絡してください。

横十間川（クローバー橋付近親水公園）について

親水公園について説明

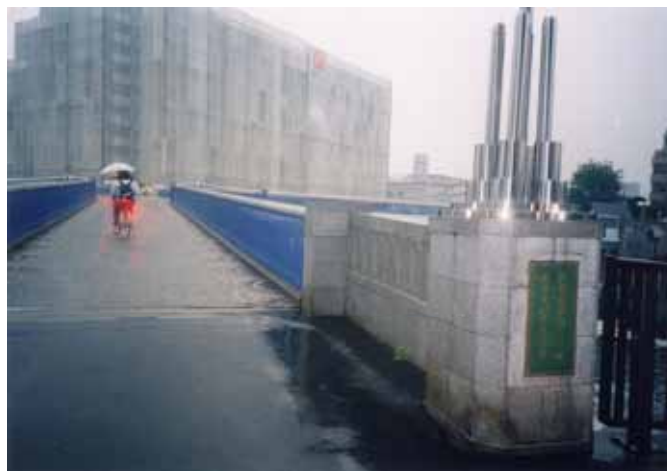
「江東内部河川整備計画」での横十間川の位置づけは埋立て暗渠化河川ですが、当親水公園は「区民の水辺」として整備された公園です。

カヌー教室（和船も含む）について説明

当親水公園を利用して、B & G財団によりカヌー教室が行われています。毎週水曜日、約 100 人の方々が参加しています。

クローバー橋について説明

横十間川と小名木川が交差するこの場所には、橋がなく大変不便でした。このため、エックス形のクローバー橋が架けられました。



大横川（南辻橋～菊柳橋）管理用通路整備について

大横川親水公園について説明

江東内部河川整備方針として、大横川は耐震護岸整備として位置づけられていますが、当親水公園は整備済耐震護岸の管理用通路に植栽等を行って、散策路としています。

耐震護岸 + 植栽工事についての説明

耐震護岸は既設の護岸を補強して関東大震災級の地震にも耐え得る構造にしています。また、植栽については墨田区が地元の方々との話し合いで樹種（サルスベリ、ハナミズキ、ソメイヨシノ等）を選定して行っています。



扇橋閘門について

閘門の操作について説明

閘門は次の6つの規則が定められ、それに従って操作が行われています。

- ・ 水位維持
- ・ 船舶通行の運転操作
- ・ 台風時などの非常時運転
- ・ 異常潮位時の緊急操作
- ・ 地震、津波による運転操作
- ・ 事故等による運転操作

また、その他訓練定期運転として、月2回の定期運転を行っています。

操作の実演

都民委員の意見・感想

- ・ ここへ来て話を聞いて、洪水に対してはまず大丈夫だと思った。
- ・ 前は中川が危なく、見に行って平井が切れるか、こっちが切れるかという思いをした。
- ・ 台風15号の時(9月11日)、旧中川の水位が変わらなくて、ありがたいと思った。昔は溢れないかと土手まで見に行った。



行政委員の意見・感想

- ・ 閘門、水門の管理システムがあって、人間が張りついて常時監視しているので、治水面では安心していただいていると思います。
- ・ 木下川と小名木の排水機場がフル稼働していましたので。あの時、隅田川の水位が上がってテラス部分が全部水没しました。あの時は水門を全部閉めた。結局何十年もかけて作った隅田川の高潮堤防や水門の安全性が実証されたことで、私どもも自信を持ちました。

その他の江東内部河川全般について

都民委員の意見・感想

- ・ 隅田川の水位は海水の水位と変わらないのか。
- ・ 隅田川と荒川の関係は。
- ・ 旧中川の江東新橋上流の整備で自然と共生する形にしてほしい。
- ・ おこしのようなコンクリートを使った護岸は植物が育ちやすく、魚が呼びやすいと新聞で見たが、考えていないのか。

行政委員の意見・感想

- ・ 隅田川の水位は通常はほぼ海水と同じ。
異常気象の時は隅田川が高くなる傾向にある。
- ・ 隅田川の上流の岩淵水門を埼玉の方で降った時は閉めて、隅田川にあまり流さないで荒川で流す形になっている。
- ・ 今後の旧中川整備においては、ヨシとかアシを残した形のものをやっていきたい。
- ・ 取り入れられるカ所があれば検討していきたい。

アンケートでの委員の意見・感想

旧中川（ふれあい橋付近）について

都民委員の意見・感想

- ・豪雨でも安心して生活できる
- ・江東新橋から中川新橋までの両岸は散歩・マラソン・魚釣りなどをしている人が多い。
- ・亀戸中央公園付近の公園との一体性と中洲方式は評価できる。
- ・旧中川河川敷での課外学習は子供たちの成長に大きく役立っていると思う。
- ・「灯籠流し」は平和の大切さを伝える貴重な機会なので、今後も継続される様望む。
- ・石作りの水辺はとてもよかった。
- ・子供、お年寄り、釣り人等が安心して長時間くつろげるのに必要な水飲み場やトイレ等の環境整備が必要ではないか。
- ・自然を生かすためには実の生る樹木を植え野鳥を呼び寄せることも必要ではないか。
- ・親水のスペース（ビオトープの現場）も見なかった。
- ・あまりきちんと作られると自然の親しみがみえない。
- ・地域住民に治水や環境の整備を行っていることをPRし、旧中川に関心をもってもらうことが必要ではないか。
- ・水辺の美化に一層努力してほしい。
- ・川の中の島が少しずつ崩れているのを補修してほしい。

行政委員の意見・感想

- ・堤防の整備も進んで子供たちも環境学習を通じて水辺に関心をもってきている。今後が楽しみである。
- ・これほど水辺に親しめる河川になっていたとは驚いた。これからも近隣の住民に愛される水辺になってほしい。
- ・コンクリート護岸が土堤に変わり、これまでの環境が一変した。10年後が楽しみです。
- ・他の河川で河川敷の不法耕作が行なわれているところもある。旧中川みたいにフィールドワークのような活動ができる整備が必要であると痛感した。

横十間川（クローバー橋付近親水公園）について

都民委員の意見・感想

- ・現在の護岸改修で安全性が随分改善されている。
- ・親水公園はカヌー、ボート、水上アスレチック等も楽しみ、もう一度ゆっくり散策してみたい。
- ・都心でカヌー、とくにすばらしい。
- ・小型船乗船場から隅田川、東京湾にも出て行くことができることは、河川の重要な役割だ。
- ・クローバー橋は経済事情が好転したらライトアップなどよいと思う。
- ・子供をつれてきたいと思った。
- ・クローバー橋付近はミニ水上パークみたいで楽しかった。外国へでも行った感じがした。
- ・クローバー橋をはじめとするアイデアに感心した。
- ・区民の生活の中に川が一体として組み込まれていることが羨ましい。

- ・ホームレスの対策はどうしているのか。

行政委員の意見・感想

- ・区民の水辺となっていた。水位調整河川としての仕組みが理解できた。
- ・親水化された横十間川と未改修の小名木川との雰囲気の違いを感じた。
- ・カヌー教室が開かれていることを今回初めて知りました。
- ・親水公園の施設が充実していた。
- ・内部河川のどこでも水面に降りられるようになると、水辺の活用が多くなると思う。これからも水辺でのコミュニケーションを増やしたい。
- ・周囲のヤナギやカヌーの利用がマッチしていた。
- ・江東区の力の入れ様が伝わってくるすばらしい親水公園だった。今後の親水公園整備の手本となるのでは。

大横川（南辻橋～菊柳橋）管理用通路整備について

都民委員の意見・感想

- ・耐震護岸の見た目の安心感は納得できた。
- ・一ブロックごとに異なった木を植え、一年を通して種々の花が咲くアイディアはよかった。
- ・プライバシー保全について、地元調整しながら親水性が確保できたことはすばらしい。
- ・植栽などの環境整備は民家（プライバシー）などの制約もわかるが、物足りなさを感じる。
- ・河川を埋立てたりボックスカルバートにすることは、都心にも残された貴重な水辺空間を失うことになるので再考を。
- ・住民のプライバシーには充分配慮してほしい。
- ・未整備の感があり、もう少し景観とプライバシーに注意しながら環境整備をしてもらいたい。

行政委員の意見・感想

- ・住民の民家が河川より低く耐震護岸の重要性が理解できた。
- ・植栽も成長して、区民の憩いの場となってきている。
- ・水面まで距離を感じたが樹木がさらに育てば印象が変わると思う。
- ・耐震護岸の端部を橋台取付護岸に重なるように施工することで、耐震性の向上と管理用通路の出入口の確保がしやすくなる。
- ・川側だけの整備でなく近隣対策、アクセスの改善などができるとよいと思う。
- ・遊歩道の整備と近隣住民との兼ね合いがむずかしい。今後、こうした整備がどこまで進められるか。

扇橋閘門について

都民委員の意見・感想

- ・江東三角地帯の外側の河川と内水低下河川との船便の確保、災害時の物資の確保面では非常に貴重な施設であることが理解できた。
- ・台風、高潮等の災害から確実に守ってくれる施設だ。安心した。

- ・旧中川の水質も昔よりよくなり自然も戻っている。
- ・閘門の操作など見られ有意義だった。
- ・航行している船の閘門利用料金はどうしているか。

- ・この施設を一般に公開して社会勉強できるものにしたい。そのためには植栽などして、もう少し潤いのある施設としてほしい。
- ・都心にもパナマ運河のミニ版が存在していることを都民にPRを。

行政委員の意見・感想

- ・隅田川と小名木川の水位差が実感できた。
- ・閘門の開閉などいままで見られなかったものが見学できて有意義だった。
- ・相当大掛かりな施設であるが、利用頻度の少ないことが気になった。
- ・舟運による運搬をPRするとともに、運搬しやすい環境を整備し、利用頻度を上げることも必要ではないか。

その他江東内部河川全般について

都民委員の意見・感想

- ・江東内部河川の安全面は一応納得できたが、隅田川の防災面での対応が心配だ。堤防決壊時の対応や、ハザードマップなどあれば連絡会に提出してほしい。
- ・水辺空間の利用に関しては自然至上だけでなく、自然との調和をいかにすべきかを今後の課題としていきたい。
- ・親水スペースをもっとPRしてほしい。あわせて交通アクセスについても知りたい。
- ・落葉の活用をされていますか。
- ・この地域でこれだけ多くの河川がきれいになっているのを知らなかった。
- ・河川流域の特性を活かした（低地の欠点を逆手にとって）魅力ある河川と街づくりにしたい。
- ・自然との共生は、そこで生活している人が生活しやすい自然につくらなければと思う。その一例が扇橋閘門だ。
- ・施設の維持・管理は大変だ。施設のPRを兼ねて区民（町会、団体）に呼びかけて、ボランティアの協力を得る方策を考えたらどうだろうか。

行政委員の意見・感想

- ・見学により江東内部河川の整備や管理についてよく理解できた。
- ・江東内部河川は馴染みのない河川だったので、この見学会は非常に有意義だった。
- ・都民・行政の連携でいいモノをつくっていきたい。

連絡会の今後の予定について

- ・第8回は来年の1月31日に実施を予定しています。

江東内部河川流域連絡会（第7回）委員名簿

平成13年10月17日
(敬称略)

都民委員 (10名)	小出義隆 武市みどり 羽鳥亜季夫 安達幹雄 畔柳昭雄 鶴見昭子 芳賀 勲 古谷和雄 増田淳子 山内久二	墨田区 墨田区 墨田区 江東区 江東区 江東区 江東区 江戸川区 江戸川区 江戸川区
行政委員 (11名)	渡邊正雄 粒來 堯 高井 聖 穂積憲重 伊藤 博 前田吉政 井内克巳 若尾啓介 本間邦博 藤井賢介 村上勝利	墨田区都市計画部都市整備担当都市施設課長 江東区土木部水辺と緑の課長 江戸川区土木部計画課長 東京都環境局環境改善部計画課長 東京都下水道局建設部土木設計課長 東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長 東京都建設局河川部指導調整課長 東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当) 東京都第五建設事務所管理課長 東京都江東治水事務所内部河川工事課長 東京都江東治水事務所水門管理課長

座 長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）
 担 当：小林・塚本
 T E L : (03) 3692 - 4651 (代) 内線 431 F A X (03) 3692 - 9955